

京都府酪農・肉用牛生産近代化計画書（令和12年度目標）

趣旨

酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針

①持続可能な酪農、肉用牛生産及び国産飼料の生産・利用、②担い手の確保、経営力の向上、③労働力不足への対応、④家畜衛生対策及び獣医療提供体制の充実・強化、⑤畜産物の安全確保の取組の推進、⑥アニマルウェルフェア(AW)の推進、⑦環境と調和のとれた畜産経営、⑧自然災害に強い畜産経営の確立、⑨暑熱対策の推進、⑩経営安定対策等の着実な運用、⑪消費者の理解醸成

により持続可能な酪農及び肉用牛生産への転換を図る。

飼養規模の目標

1 酪農：地域の特性や経営形態に応じた多様で合理的な経営体を育成。

項目	戸数 (戸)	総頭数 (頭)	経産牛1頭当りの乳量(kg)	生乳生産量 (トン)	1戸当たりの飼養頭数(頭)
現在(5年度)	46	3,723	9,743	26,921	80.9



高齢農家の廃業
経営意向調査(5年後)から推定



育種改良

12年度予測	40	3,578	10,020	26,793	89.5
--------	----	-------	--------	--------	------



経営規模の拡大

目標(12年度)	40	3,800	10,020	28,457	95.0
----------	----	-------	--------	--------	------

2 肉用牛：高品質な京都生まれ京都市育ちの牛肉の安定的な供給を目指す。

項目	肉専用種戸数(戸)				繁殖雌牛頭数(頭)			肥育牛頭数(頭)		
	繁殖経営	肥育経営	一貫経営	計	繁殖経営	一貫経営	計	肥育経営	一貫経営	計
現在(5年度)	49	16	5	70	685	193	878	1,892	1,936	3,828



高齢農家の廃業
経営意向調査(5年後)から推定

12年度予測	44	15	5	64	663	193	856	1,831	1,936	3,767
--------	----	----	---	----	-----	-----	-----	-------	-------	-------



経営規模の拡大

目標(12年度)	44	15	5	64	740	230	970	2,310	1,900	4,210
----------	----	----	---	----	-----	-----	-----	-------	-------	-------

3 飼料自給率の向上

耕畜連携によるWCS等の飼料生産拡大による自給率の向上

	作付面積	生産量	単収
現在(R5年度)	481ha	1,059TDN トン	2.20TDNt/ha



・稲WCS、飼料用米の増産による自給率の向上

目標(12年度)	550ha	1,349TDN トン	2.45TDNt/ha
----------	-------	-------------	-------------